



交通安全講習会を行いました

平成 28 年 1 月 15 日午前 2 時頃、長野県軽井沢の国道を走行していたスキーツアーバスが、反対車線のガードレールを乗り越え、道路の下に転落する事故が起きました。乗っていた 41 人のうち、乗客 13 人と乗員 2 人の合わせて 15 人が死亡するという大惨事となりました。

この事故を受け、スサノオ観光では安全運転についてもう一度見直そうと、平成 28 年 3 月 7 日～9 日の 3 日間、弊社研修棟にて、出雲警察署 交通課 交通総務係の三成友之警部補をお招きし、交通安全講習会を開講しました。3 日間で田原社長をはじめ、運行管理者、乗務員合わせて 27 名が参加しました。

講習の中で、1 日平均で 1471 件の事故が発生しており、事故による平均死者数は 11.3 人、死亡事故数が 1 番少ない日でも 3 件発生しているというお話は驚きでした。軽井沢のスキーバス事故でもシートベルトを着用していなかったことで、多くの死者が出たという現実があります。シートベルトをいかに着用してもらうかは、『シートベルトの着用をお願いします。』の一言に尽きると同時に、お客様にも運転手の声かけで『安全運転意識の高さ』と『マナーの良さ』を理解していただけるとのお話があり、シートベルト着用の声かけの重要性を改めて考えさせられました。

また、運転手の皆さんの声として、「ドライブレコーダーの映像によるヒヤリハット事例を見て、相手の横に並ばないなど、相手の死角に入らないことの重要性、ミラーなどに頼らない目視による確認の重要性、常に危険を予測し、最悪の事態を想定して走行する防衛運転の重要性を再認識し、自分の運転を見直すことができた。」「安全運転の大切さを改めて思い起こす意義ある 3 日間となった。」との声が上がっています。講習で学んだことを生かし、今後もプロドライバーとして一人一人が安全運転を心がけましょう！

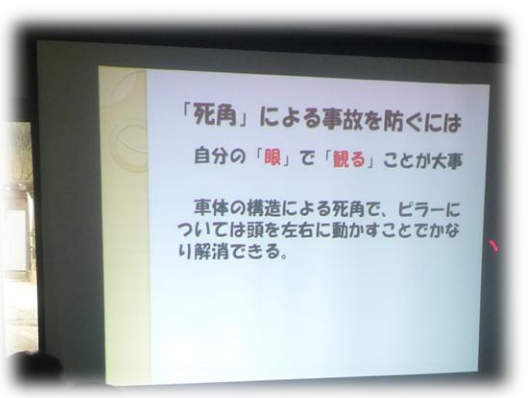
☆ (当日の様子です) ☆

新車を導入しました
**53人乗り大型
サロンバス**

(正座席 45 席、補助席 8 席)



3 月 7 日、須佐神社にて新車
お祓いを受けました。



「死角」による事故を防ぐには
自分の「眼」で「見る」ことが大事
車体の構造による死角で、ピラーについては頭を左右に動かすことできず
り解消できる。